



ロータリーの未来は
あなたの手の中に

地区テーマ

地域にやさしさを
ロータリーに活力を

本クラブテーマ

平常心でロータリーを

国際ロータリー第2800地区

鶴岡ロータリークラブ

第2464回(本年度第4回)例会 2009.7.28

- 例会日/毎週火曜日(12:30~13:30)
- 例会場/東京第一ホテル鶴岡
鶴岡市錦町 2-10 Tel. 0235-24-7611

クラブホームページアドレス <http://www.tsuruokarc.org/>

会長報告

富樫松夫

● 7月24日 鶴岡4RC合同事務局連絡会議が事務局で開催されました。阿部幹事と私が出席して参りました。後ほど阿部幹事より報告があると思いますが、会員減少により人頭分担金を年間一人当たり1,000円増で予算を組まないといけない旨の報告がありました。

● 7月25日 第一回ロータリー財団セミナーが天童で開催されました。塚原カバナーエレクト、西川理事、丸山隆志君、阿部幹事、私の5名が参加して参りました。また、それに先がけて、ロータリー財団国際親善奨学生歓送会があり、塚原ガバナーエレクトと私が参加して参りました。今日ゲストでお見えの、館林あずささんはそのお一人です。非常にりっぱな自己紹介・抱負を話してくれました。後ほど、スピーチを頂きたいと思えます。

スマートグリッド

スマートグリッドとは最新IT技術を活用して、さまざまな集中型・分散型エネルギー源を効率的に管理、供給する次世代送信システムを表現したものです。具体的には家電やオフィス機器からの電力消費情報に基づき、電力需要を細かく予測して電力が余っている地域から足りない地域に回す、地域の電力消費が上がりすぎれば地域の各家庭・オフィスの家電・電子機器に消費量を下げるよう自動で指示をする、太陽光発電や風力発電のような再生可能エネルギーを柔軟に電力網に組み込む、といったことができるようになるシステムがスマートグリッドです。例えば、オバマアメリカ大統領のグリーン・ニューディール政策の柱の1つで、地球温暖化問題

解決のカギになると期待されている政策の1つに挙げられているようです。

そこで地球温暖化、温室効果ガスという言葉が関連用語として上げられますが、この言葉は次回に回すとして、当クラブの社会奉仕委員会で取り組もうとしている「アイドリングストップ」&「エコドライブ」は地球温暖化・温室効果ガスの抑制には大いに役立つのではないかと思います。

幹事報告

阿部純次

◎ガバナー事務所

- ・ロータリーレート変更のお知らせ
2009年8月1日より1ドル94円
- ・社会奉仕・米山奨学セミナー開催のお知らせ
日 時：8月22日(土) 9:30~16:00
場 所：パレスグランデール
登録料：3,000円
- ・第二ブロック会員増強・会員維持セミナー開催のお知らせ
日 時：8月31日(月) 14:00~15:30
場 所：ランド・エルサン
登録料：1,000円

◎山形イブニングロータリークラブ

- 創立10周年記念式典のご案内
日 時：9月27日(日) 受付開始：午後1:30
記念式典：午後2:00~3:15
記念講演：午後3:00~4:30
講師：藤川享胤 『これからのロータリー』
記念祝賀会：午後4:45-6:30
会 場：パレスグランデール
登録料：一人10,000円

8月は… 会員増強及び拡大月間

出席報告	会員数	42名
	出席	25名
	出席率	65.79%
	前々回確定出席率	91.67%

- R I 会長/ジョン・ケニー ■ 地区ガバナー/佐藤豊彦 ■ 会長/富樫松夫
- 会長エレクト/佐藤孝子 ■ 副会長/青柳孝治 ■ 幹事/阿部純次 ■ 会報委員会/樫野隆博・石田 雄

事務局：鶴岡市馬場町11-63 鶴岡産業会館3階 TEL (0235) 28-3375 FAX (0235) 28-3376
E-mail: tsuruoka08@rid2800.jp

国際親善奨学生として思うこと

ロータリー財団 2800 地区国際親善奨学生 館林あずさ

◎ゲスト紹介

本年度ロータリー財団 2800 地区国際親善奨学生として米国アイオワ大学（ポール・ハリスの母校）に留学する。スポンサークラブは立川 RC。R 財団の試験は 2 年前から TOEFL の合格基準点数が高くなった。1 年間の留学は館林さんが山形県でただ一人である。庄内町狩川出身、酒田東高、津田塾大学英文学卒。これまでの財団奨学生には第 8 代国連難民高等弁務官緒方貞子さん、前上智大学教授、現衆議院議員猪口邦子さん、宇宙飛行士山崎直子さん等がいる。（国際奉仕委員長 高橋良士）



ご紹介いただきました館林です。本日はお招き頂きありがとうございます。私は R 財団国際親善奨学生として 8 月 6 日からアメリカ、アイオワ大学に留学いたします。本日は留学先でどんなことを学ぶのか、どんな

抱負を持って行くのか話させていただきます。

留学先では経済学、特にマイクロクレジットと呼ばれる分野を中心に学んで来たいと思っています。マイクロクレジットは少額無担保融資と訳されます。貧しい人々に月 1 ドルとか 2 ドルを融資する金融システムです。少額ですが貧しい国々では大きな意味を持てきます。この仕組みで貧困から抜け出した人は多いと聞いています。私が面白いと思ったのは、貧しい人々を豊かにしたというだけではなく、そういう方々に対し人間としての自信を持たせたと言うことです。少額でも信頼してお金を貸してくれる、そういうことが人間としての自信を取り戻させたのかもしれません。私はこのような血の通ったビジネスに興味があって、経済に進もうと考えました。マイクロクレジットを通して企業が社会に対し、どう責任を負っていくべきなのか、また社会に貢献していくべきなのか、こういったことを中心に考えていきたいと思っています。

また、留学先では大学の勉強のみならず R 財団が行っている貧困と飢餓というボランティア活動や集会に積極的に参加したいと思っています。この R 財団プログラムと私の学ぶテーマとは密接に関連しています。その他 R 財団にはたくさんのプログラムがありますので、この機会を生かして貴重な体験が出来るのではと期待しています。出発まで 1 週間、期待と不安、国際親善奨学生としての使命感で胸が一杯です。そんな中、津田塾大学の創始者、津田梅

子先生が「受けた教育の価値が認められ、尊敬されるに値する人になって下さい。多くを受け取った者は、その多くを他人に与えなければならないということをおっしゃっています。私がこれから受けるであろう一年の学びの機会、これをどう帰国後に社会に還元していけばいいか考えずにはられません。自分が何をどうやって他人に与えたら良いのかなかなか答えは見つかりませんでした。偶然テレビで宇宙飛行士の山崎直子さんはかつて財団奨学生であったことを知りました。世界で堂々と活躍している先輩を誇りに思うと同時に、自分も努力すれば先輩のようになれるかもしれないという夢を頂きました。自分のフィールドで精一杯努力すること、この事が今私が出来ることだと考えています。来年度はここ鶴岡で地区大会が開催されると聞きました。そこで成長した自分を見ていただけたらと思います。本日はどうもありがとうございました。

県立山添高等学校 校長 佐藤 正二 氏

山形県英語教育研究会田川支部の代表としてお願いに参りました。本年度も平成 21 年度中学校高等学校英語弁論大会を 9 月 10 日、鶴岡市中央公民館で開催いたします。昨年は 51 名の中学生、高校生に参加してもらいました。後援をどうぞよろしくお願い致します。



委員会報告

SAA・出席委員会

● ゲスト

佐藤正二氏（山形県立山添高等学校校長）

山口里美氏（鶴岡市立第四中学校教諭）

館林あずさ（R 財団親善奨学生 SC 立川 RC）

メイクアップされた方

藤川 享胤 富田喜美子

●●スマイル 😊

富樫松夫君 ①館林あずささん元気で頑張ってください。②佐藤先生、山口先生英語弁論大会の案内ご苦労さまです。後ほど打合せをさせていただきます。

塚原初男君 館林あずささんひとまわりも、ふたまわりも大きくなって帰って来てください。

丸山隆志君 館林あずささん元気で行ってってください。